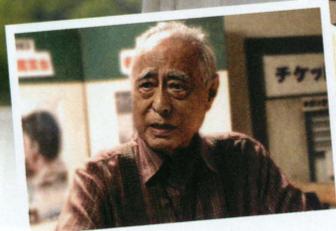


忘れられない悲しみが
今、涙と感動に変わる…。



太田隆文 監督作品

ひまわり ひまわり 赤 おか

1983年・夏

常盤貴子 田中美里 藤田朋子

芳根京子 藤井武美 百川晴香 並樹史朗・鳥丸せつこ・別所哲也・津川雅彦

仲代奈緒 斉藤とも子 岡本ぶく 北原雅樹 小池亮介 高嶺正隆 まねだ聖子(声の出演) 岡村洋一

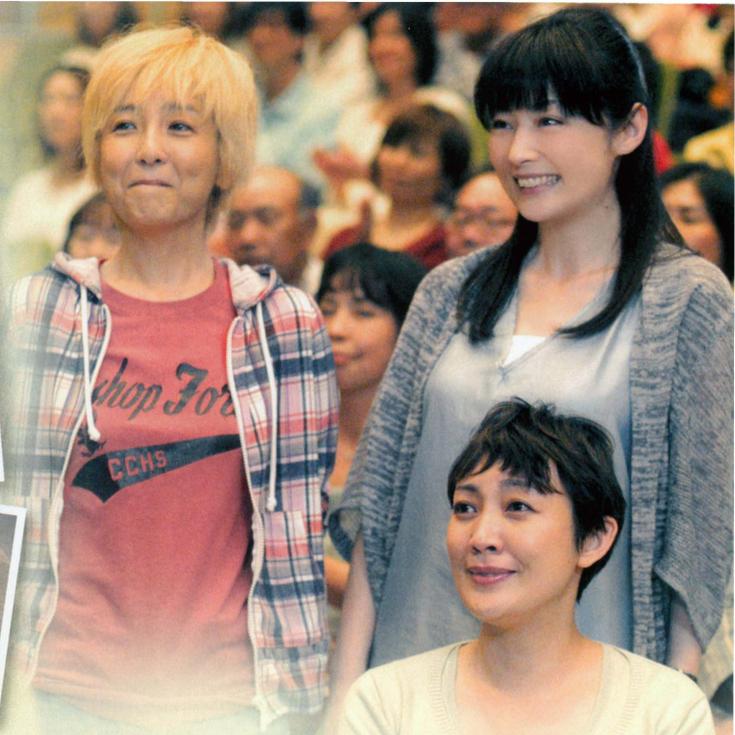
プロデューサー・原作脚本・編集:太田隆文 アソシエイトプロデューサー:小林良二 アシスタントプロデューサー:登山里紗
プロダクションマネージャー:磯野好司 撮影:三本木久城 下屋外純 照明:左納康弘 録音:平島保 美術:竹内悦子 音楽:遠藤浩二 助監督:富澤昭文
制作担当:横手三佐子 タイトル題字:大石千世 配給協力:渋谷プロダクション 制作:青空映画舎 2015年/日本

製作総指揮:井上浩一 製作・配給:IPSエンタテインメント



1983年の夏

あなたは誰と、何処にいましたか？



涙と感動の日本版「ニュー・シネマ・パラダイス」

1983年。まだ携帯もパソコンもなく、CDではなくレコード、DVDではなくビデオテープ。松田聖子や中森明菜が大人気。マイケル・ジャクソンの「スリラー」が流行。パブル景気の前夜ともいえる懐かしい時代。田舎町で青春時代を過ごした女子高生3人組。映画館で古いミュージカル映画を観るのが大好き。でも、卒業前に起きた悲しい出来事。そして30年後の再会……日本版「ニュー・シネマ・パラダイス」ともいえる感動の青春ノスタルジー映画。「ストロベリー・フィールズ」「青い青い空」「朝日のあたる家」で観客を号泣させた太田隆文監督が今回も涙の物語を届ける。

出演は、ドラマ「愛していると言ってくれ」「天地人」、映画「野のなななのか」などで存在感を示し、今春からNHK連続テレビ小説「まれ」に出演中の常盤貴子。同じく連続テレビ小説「あぐり」でデビュー、テレビ&映画で活躍中の田中美里。さらに「渡る世間は鬼ばかり」で圧倒的な認知度を誇り、最近では夫婦バラエティ番組に出演するなど活躍の幅を広げている藤田朋子。その3人の高校時代を演じるのは、こちらもNHKテレビ小説「花子とアン」に出演した芳根京子、「桐島、部活やめるってよ」などの藤井武美、アイドルでもある百川晴香。他にも津川雅彦、別所哲也、並樹史朗、烏丸せつ子、仲代奈緒ら実力派俳優たちが脇を固め、絶妙のアンサンブルを見せている。

1983年の出来事

中曽根康弘首相が韓国で金斗煥大統領の公宴、カローレメイト発売、東京ディズニーランド開園、大橋の「世界まるごとHOWマッチ」放送開始、スベスシャトルチャレンジャー「打ち上げ」天宮がファミコンを発売。

大韓航空機撃墜事件、ロッキード事件、田中角栄元首相に懲役4年、レーガン大統領が来日、YMOが日本武道館で散開コンサート。

わが家へのめだかの兄妹(吉岡里帆「CAT'S EYE」)松田聖子「天国のキッス」(SWEET MEMORIES)「瞳はダイヤモンド」中森明菜「1/2の神話」禁テレ「ALICE」メリアン・柏原芳恵「春のうた」YMO「君に胸キュン」上田正樹「恋しい色やね」山下達郎「クリスマス・イブ」村下孝蔵「初恋隠蔽」非非「ラヴィズオヴ」

「HEO」想い出たいは「1」早見優(夏目)のナンシ「IRAI」STAR「組のつり」

フランシス・タムス 戦場のメリクリスマス家族ゲーム「南極物語」007「オクトパシ」時をかける少女「探偵物語」宇宙戦艦ヤマト「完結編」ネバース「インターネット」インスパイランIII「電子の要塞」

「澤川家康」おしん「金曜日の妻たちへ」あそびの林檎「水戸黄門」青が散る「青春スケッチ」ツクニ「必殺仕事人」



Story 東京で売れないシナリオ・ライターをしている多香子(常盤貴子)の元に故郷で暮らす高校時代のクラスメートみどり(田中美里)から30年ぶりに連絡が届く。「病気であと数ヶ月の命」との内容に驚いた多香子は、もう1人のクラスメート、アメリカ人と結婚したエリカ(藤田朋子)に相談する。が、相手にされず。悩んだ末に30年振りの帰郷を決意する。高校時代の悲しい出来事を今も引きずっており、一度も帰郷していなかった。故郷に向かう多香子の胸を通り過ぎるのは、あの頃の思い出。地元の名画座に3人で行き、古いミュージカル映画を毎週見ている。学校帰りはいつも鯛焼き屋でおしゃべり。片思いの先輩もいて、懐かしさが蘇る。だが、30年振りに帰った故郷で待っていたのは「悲しい現実」と「別離」であった……。涙なしには見られない感動の青春ストーリー。

<http://himawarinooka.net/>



8月22日(土)より全国順次上映決定
 全国共通券1,300円(税込) 劇場、プレイガイドにて発売中
 初日舞台挨拶、イベント情報はホームページをご確認ください。
<http://himawarinooka.net/>

品川駅高輪口・品川プリンスホテル内
品川プリンスシネマ
 TEL. 03-5421-1113
8月22日(土)より上映

JRハチ公口・渋谷ロフト前・三葉ビル7F
渋谷シネパレス
 TEL. 03-3461-3534
9月12日(土)より上映